

D1 Trend Method Style Vol.07

【 D1トレンドメソッドスタイル Vol.07 】

第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■はじめに

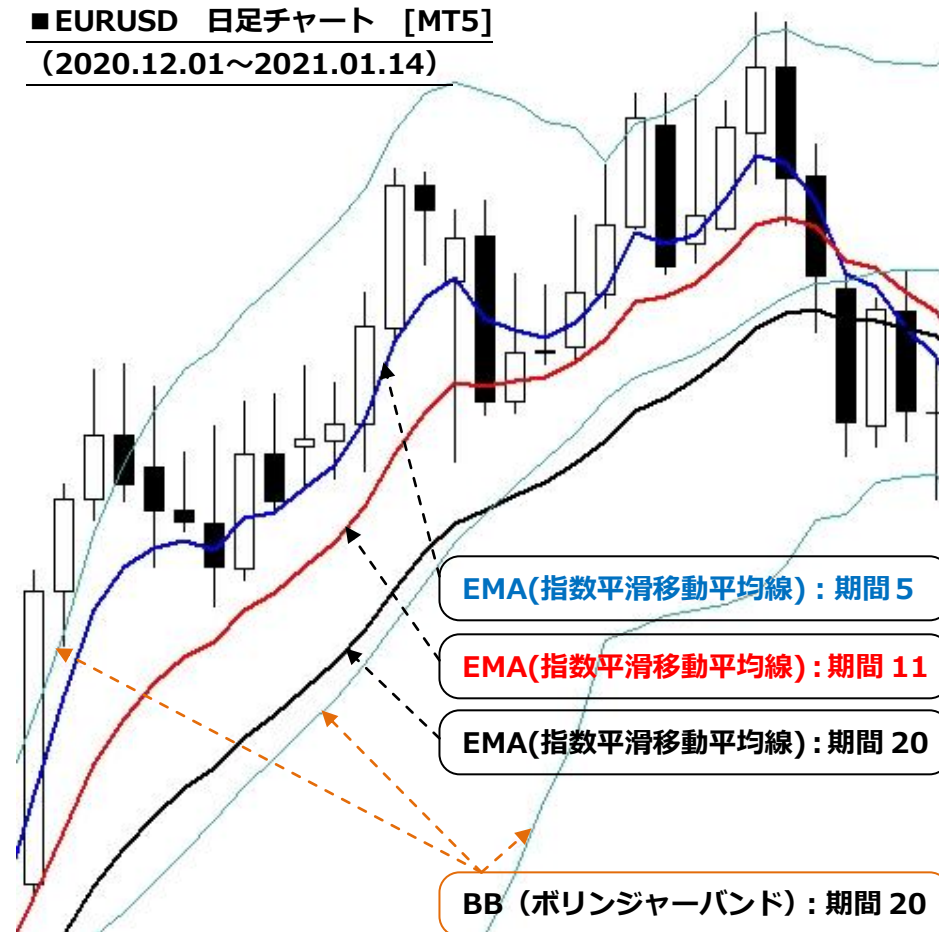
繰り返しになりますが、この手法での重要ポイントである [【インジケータ判断】](#) で使用するインジケータは以下の3種類です。

- ・ EMA (指数平滑移動平均線)
- ・ BB (ボリンジャーバンド)
- ・ MA (移動平均線)

この手法では、この3種類のインジケータをチャート上での形作る組み合わせ (インジケータの配置順など) で、ローソク足チャートと照らし合わせながら判断するものになります。

右参考図は、本編でも掲載していた使用するインジケータの表示目標になります。このテキストでは、右参考図のようにインジケータを表示できることを目標にした解説をしていきます。

■EURUSD 日足チャート [MT5]
(2020.12.01~2021.01.14)



第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

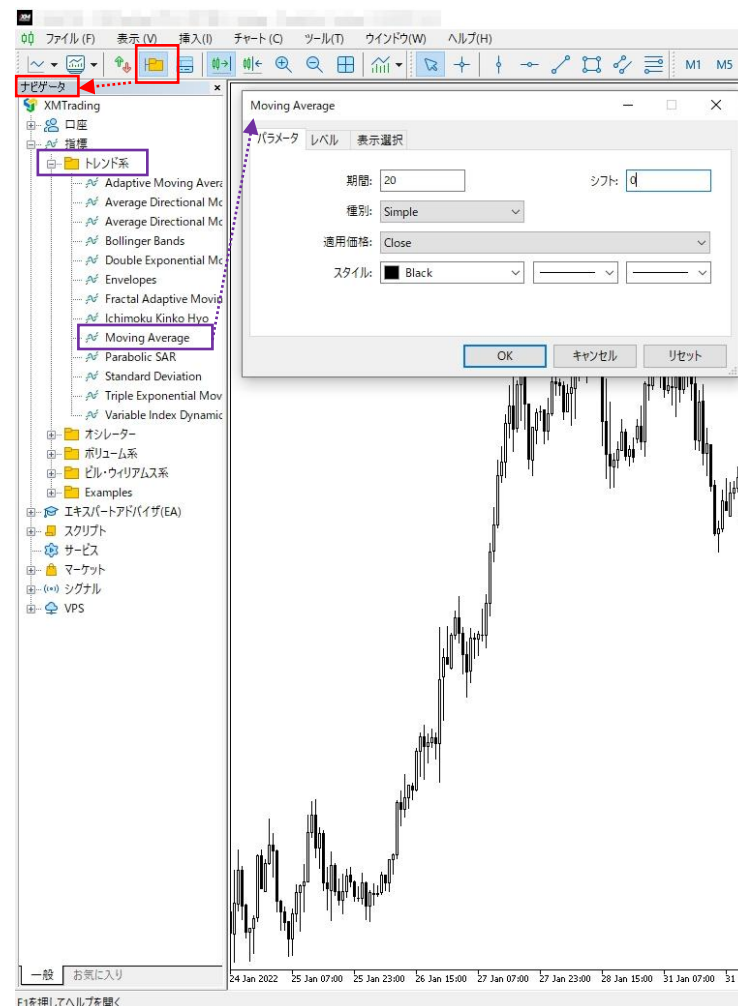
■ EMA (指数平滑移動平均線) の表示設定方法

1) 【Moving Average】の設定画面をチャート上に表示させる

※MT5の基本設定であれば、並びや表示個数は若干違うかもしれませんが、右参考図のようにツールバーが表示されています。

- ①表示画面左上部に【ナビゲータ】があるので、このボタンを【クリック】して詳細を表示させる。
- ②【ナビゲータ】内の【トレンド系】を【ダブルクリック】 or 【(+)
をクリック】して詳細を表示させ、【Moving Average】を確認する。
- ③【Moving Average】部分を、【ダブルクリック】 or 【ドラック&
ドロップ】でチャート上に合わせる。

以上の手順で、チャート上に右参考図のように【Moving Average】の設定画面が表示されます。



第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■EMA（指数平滑移動平均線）の表示設定方法

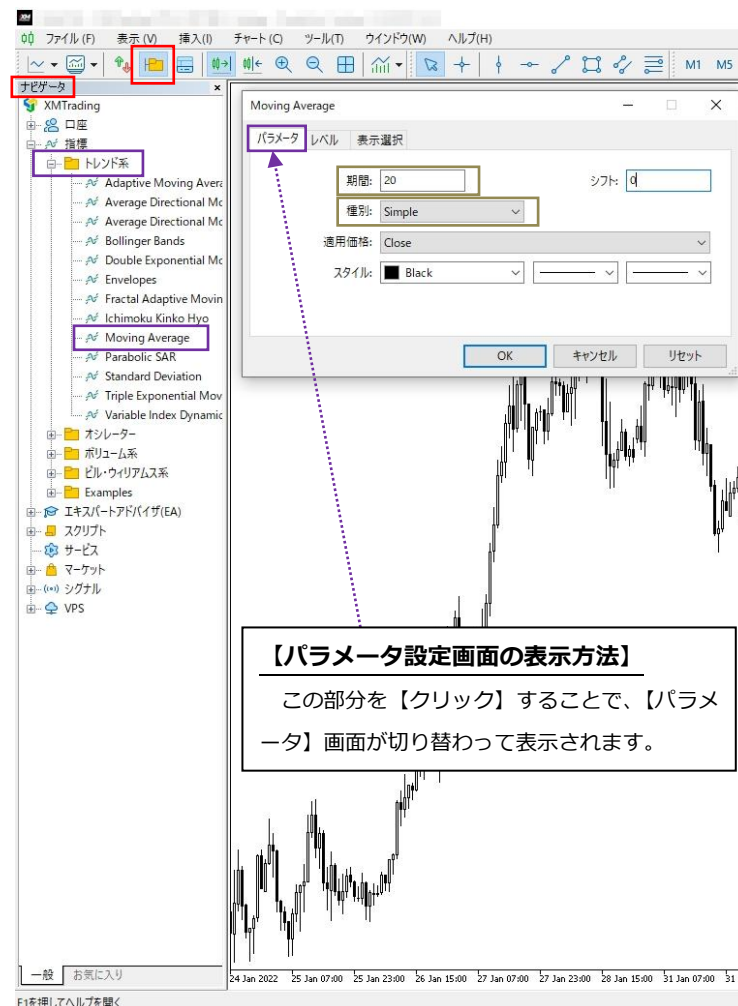
2) 【Moving Average】のパラメータ設定

※パラメータ設定必要な画面は【パラメータ】となります。

①パラメータ変更設定箇所

パラメータで変更設定を行う箇所は、【期間】と【種別】の2箇所になります。

【パラメータ】設定画面における、他の【シフト】、【適用価格】、【スタイル】に関しては、基本設定のまま変更する必要はありません。但し、【スタイル】に関しては、チャート上に表示される線の【色】と【太さ】になるので、自分的に見やすいように変更してください。一応、次ページ以降こちらより提案しますが、それぞれ見やすい色・太さには違いがありますので、自由に変更して見やすいチャートにしてください。



第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

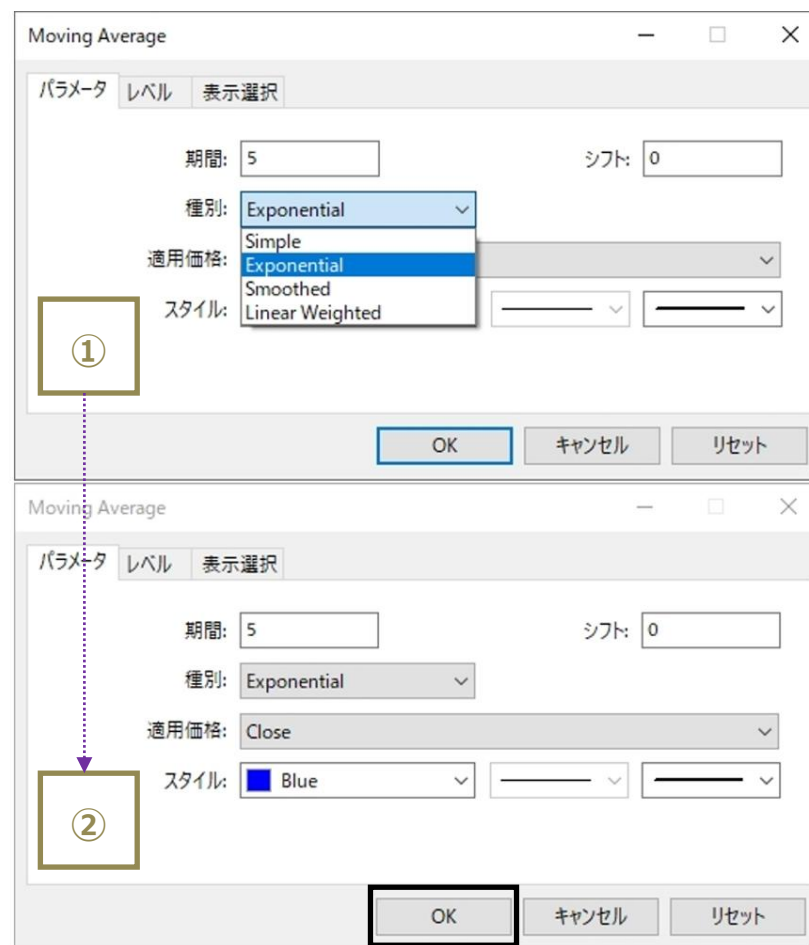
■EMA（指数平滑移動平均線）の表示設定方法

2) 【Moving Average】のパラメータ設定

②パラメータ変更設定詳細

【期間】	5 / 11 / 20
【シフト】	0（変更なし）
【種別】	Exponential（右参考図参照①→②）
【適用価格】	Close（変更なし）
【スタイル】	【期間】 5 / Blue 【期間】 11 / red 【期間】 20 / Black

以上の変更箇所を右参考図のように数値変更し、最後に、右下の【OK】を【クリック】することで、パラメータ設定が完了し、チャート上にEMAが表示されます。



第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■EMA（指数平滑移動平均線）の表示設定方法 / EMA（期間：5）をチャート表示

< 時間軸：日足チャート >

●EMA（期間：5）の【表示選択】設定
【データウインドウに表示】と【すべての時間足】の左にある【レ点】に【チェック】を入れてください。

第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■EMA（指数平滑移動平均線）の表示設定方法 / EMA（期間：5）（期間：11）をチャート表示

このスクリーンショットは、MetaTrader 5のチャート表示設定を説明しています。左側のツリービューには「トレンド系」の「Moving Average」が選択されています。中央の「Moving Average」ダイアログボックスでは、期間を「11」に設定し、スタイルを「Red」に設定しています。右側のチャートには、期間5と11のEMAが表示されています。チャートの時間軸は「日足チャート」です。下部の「Moving Average」ダイアログボックスでは、「データウインドウに表示」のチェックボックスがオンになっており、「すべての時間足」のチェックボックスがオフになっています。また、「日足」、「週足」、「月足」のチェックボックスがオンになっています。

●EMA（期間：11）の【表示選択】設定
【データウインドウに表示】の左にある【レ点】に【チェック】を入れてください。
【すべての時間足】の左にある【レ点】の【チェック】を外してください。その上で、【日足/週足/月足】の左にある【レ点】に【チェック】を入れてください。

第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■EMA（指数平滑移動平均線）の表示設定方法 / EMA（期間：5）（期間：11）（期間：20）をチャート表示

時間軸：日足チャート

EMA（期間：20）の【表示選択】設定

【データウインドウに表示】の左にある【レ点】に【チェック】を入れてください。

【すべての時間足】の左にある【レ点】の【チェック】を外してください。その上で、【日足/週足/月足】の左にある【レ点】に【チェック】を入れてください。

第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■EMA（指数平滑移動平均線）の表示設定方法

以上の設定行程より右参考図に表示された【①】と【②】のチャートのようにEMAが表示される設定が完了します。

- 【①】チャートとは？
【日足】 / 【週足】 / 【月足】 に対して、EMA を3本出すことでPO（パーフェクトオーダー）を確認出来るように設定したチャートです。
- 【②】チャートとは？
【4時間】以下の時間チャートに対して、EMA（期間：5）を表示させるように設定したチャートです。



第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■BB（ボリンジャーバンド）の表示設定方法

※MA（移動平均線）に関しては、BB（ボリンジャーバンド）を設定することで、同時に表示出来るので一緒に解説していきます。

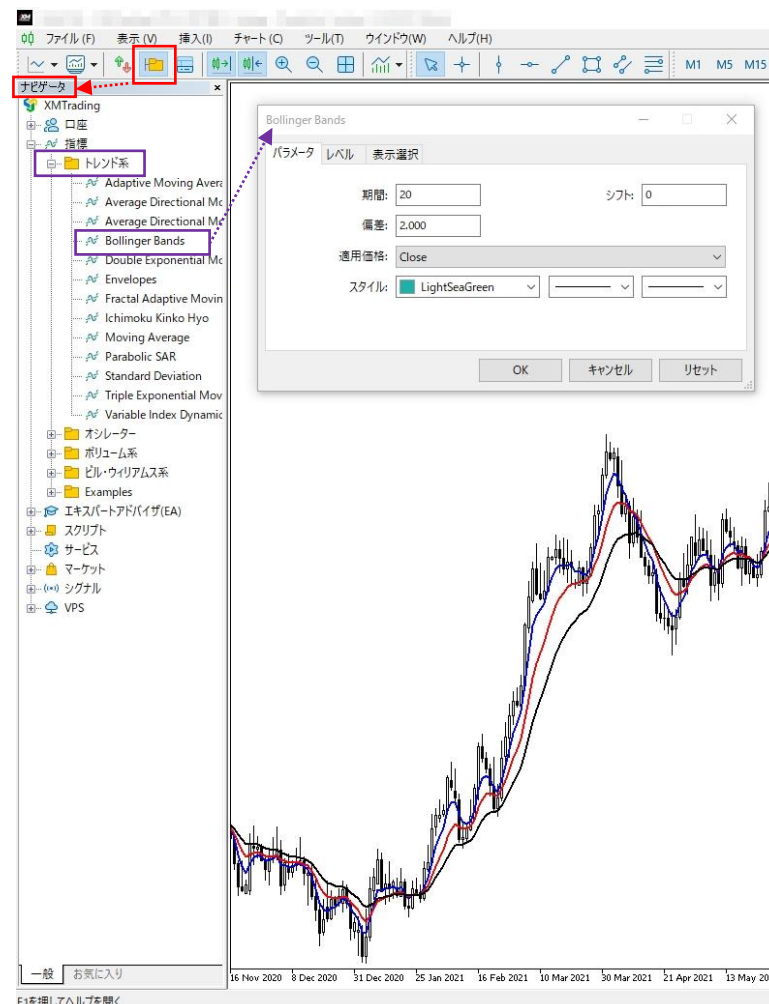
1) 【BB】の設定画面をチャート上に表示させる

①表示画面左上部に【ナビゲータ】があるので、このボタンを【クリック】して詳細を表示させる。

②【ナビゲータ】内の【トレンド系】を【ダブルクリック】 or 【(+)
をクリック】して詳細を表示させ、【Bollinger Band】を確認する。

③【Bollinger Band】部分を、【ダブルクリック】 or 【ドラック&ドロップ】でチャート上に合わせる。

以上の手順で、チャート上に右参考図のように【Bollinger Band】の設定画面が表示されます。



第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■BB（ボリンジャーバンド）の表示設定方法

＜ 時間軸：日足チャート ＞

●BB（ボリンジャーバンド）表示設定

この参考図に示した【パラメータ】・【表示選択】の設定画面通りに設定してください。基本設定になるので、数値変換や選択をする必要はないと思います。

EMA の時にも開設しましたが、【スタイル】に関しては、【色】も【線の種類・太さ】も自由に選択して、自分的に一番見やすいように設定してもらって大丈夫です。

最後に、【OK】を【クリック】することで設定完了となります。

第7章 [補足①] インジケータ判断追加解説

■手法で使用するためのインジケータ表示設定解説

■BB（ボリンジャーバンド）の表示設定方法

以上の設定行程より右参考図に表示された【①】と【②】のチャートのようにBBが表示される設定が完了します。【①】と【②】と分けましたが、BB（ボリンジャーバンド）に関しては、違いはないのでEMA表示との差になります。

加えて、MA（移動平均線）に関しては、BB（ボリンジャーバンド）を表示することで、同時に表示されているので、追加の解説はしません。

最後に、BB（ボリンジャーバンド）を加えた、【①】チャート、【②】チャートが【D1 Trend Method Style】で使用するチャートテンプレートの完成形となります。

